

Design with Climate

- 世界の気候におけるパブリックデザイン -

□趣旨

珈琲を嗜むだけでなく、友人との会話を楽しんだりパソコンを広げて仕事をしたり、はたまた読書に耽ったりと、カフェは多様な行為を受け止める現代都市におけるパブリック・スペースである。また、空調された室内空間のみでなく屋外空間をも利用する点においても、単一の建築にとどまらず街との接続を積極的に試みた建築プログラムであるといえる。

本スタジオでは、海外を敷地とし、その場所の気候特性を読み解き、その気候に合ったカフェ空間の設計を行う。敷地が異なれば気候や文化も全く異なり、最適な建築のデザインの仕方も異なるであろう。気候に応じた建築の形状や外皮の在り方を考え、外部環境を積極的に用いることで、カフェ空間の体験を変えることができるのではないだろうか。また、各国の喫茶の文化を反映し、利用者や行為の差に応じた内部空間の提案も求められる。外部環境や文化に呼応して作られる空間は、その土地特有のものとなるはずである。

国内外で「環境建築」を実践している建築家・エンジニアによるレクチャーや、海外事務所実務経験をもつ留学生との交流を通して、各敷地の気候特性や文化についても学ぶ。また、気候解析ツールや環境シミュレーションツールを用いて、定量的な解析を進めながら設計を進めていく。この課題を通して、カフェといった一つの建築プログラムが、外部環境によってどう変態していくのか、建築のもつ力を感じさせるような提案が生まれることを期待する。

□課題 (設計のプロセス)

1. 文献や留学生との話し合いからその国の文化・風土・伝統から環境的アプローチを探る。
2. 気象分析ツールを用いて、世界各地の気象データを分析し、その土地の環境的ポテンシャルを分析する。
3. Rhinoceros や Grasshopper などを用いた環境シミュレーションを習得し、気候とリンクさせた形態スタディを行う。

□履修条件・初回集合場所

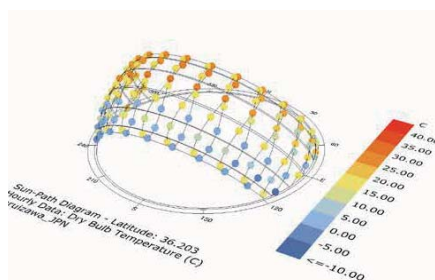
学部対象：定員 10 名程度 初回：4 月 14 日 (木) 18:00 ~ @11 号講義室

エスキス：火曜 13:00 ~ ・木曜 18:00 ~ (時間変更の可能性あり)

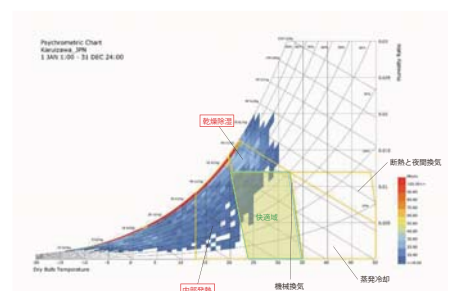
スタジオ HP：<https://www.facebook.com/MEDStudio.UT/>



留学生 TA を交えたエスキス風景



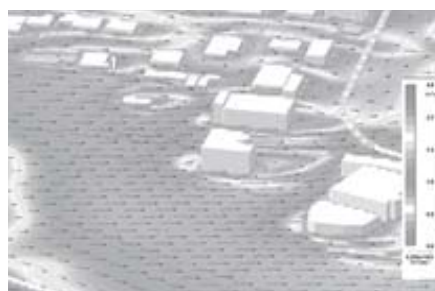
気候分析ツール (SunPath) (Ladybug+Honeybee)



気候分析ツール (快適性指標) (Ladybug+Honeybee)



昨年度スタジオの様子



風環境シミュレーション (FlowDesigner)



光環境シミュレーション (DIVA)